MUKAWA 広報むかわ
4
APRIL 2015
No.109
発行・編集 むかわ町役場 総務企画課政策推進G
〒054-8660
北海道勇払郡むかわ町美幸2-88
TEL 0145-42-2411
FAX 0145-42-2711
http://www.town.mukawa.lg.jp/
seisaku@town.mukawa.lg.jp

恐竜が出たゾー!

恐竜のまちづくり最前線

パート3

穂別稲里
恐竜特集

今後は恐竜化石を活かしたまちづくりを皆さんと一緒に考える取り組みが始まります。

まちのうごき

2/19恐竜学研究環境整備促進議員連盟(恐竜議連)総会で発掘報告

恐竜議連は、恐竜研究の環境整備を図るため昨年6月に国会議員の有志でつくられた連盟で、今回開催された総会の中で町長と北海道大学総合博物館の小林准教授がむかわ町恐竜化石の発掘状況などについて報告しました。

町長からは、この化石を次世代の子供たちにつなげていくために、今後「恐竜化石によるまちづくりプロジェクト」で具体的な整備などについて検討を進めていきたい。また、地域の活性化に向けた環境整備についての支援をお願いしました。

小林准教授からは、発掘の経緯と状況を説明し、ハドロサウルス全身骨格の概要・希少性、恐竜時代終焉に生きた恐竜化石の全容が判明する学術的な価値、教科書掲載などの教育的な利活用価値、そして北大と穂別博物館の共同研究、教育プログラムの開発、恐竜ネットワーク化など地域資源活用の可能性について報告しました。

町の担当者からは、「まだ具体的な計画は決まってないが、既存施設の活用も含めて北海道大学と連携しながら学習機能の充実を目指したい。また、化石資源が少しでも身近に研究・体験できる環境づくりを進め、文化財の天然記念物指定登録を視野に入れた活用を考えていきたい。地域が少子・高齢化や過疎化で疲弊していく中で、地域の自慢として再構築していく事や、地域住民に参画していただき協働してもらえる事で継続可能な取り組みとしていかなければいけない事を感じている。4月からはまちづくり委員会の中に専門部会を設置してプロジェクトを始動し、新規に地域おこし協力隊の採用も行い、計画化と実践活動を行うため我がまちの地域創生の目玉として位置付けたい」と説明しました。

恐竜化石発掘の現状を説明する竹中町長

報告を受けた議員からは、「もっと話が聞きたかった。今後の研究が楽しみ」など前向きな意見があり、関心を深めることができました。

町民の皆さんの関心はまだ少し低いようですが、ご意見等がありましたら総合支所地域振興課までお知らせください。

TEL[45]2111

博物館のうごき

化石クリーニングは人員を増員し、これまでよりも作業を早めていく予定で、そのための作業場所確保、作業スペースや資料の整理を行っています。

人の動き

平成27年2月28日現在

▶人口	8,937人(-29)
▶男性	4,385人(-23)
▶女性	4,552人(-6)
▶鵡川地区	6,032人(-18)
▶穂別地区	2,905人(-11)
▶世帯	4,406世帯(-12)

※( )は前月比。住基法の改正により、外国人数を含みます。

平成27年2月1日～28日

出生	2人	死亡	15人
転入	18人	転出	34人

交通死亡事故ゼロ日数

平成27年2月28日現在

018日

残念なことに2月9日に交通死亡事故が発生しました。交通事故のない町を目指し、今後も町民一人ひとりが交通安全に取り組みましょう。